

## 露地ぶどう ベと病に注意！

## 1 発生と今後の状況

- ・発生予察調査において、7月前半の発病葉率が急増し、平年に比べ多い(表1)。
- ・向こう1か月の降水量は、平年に比べ高い確立が40%と予想されており、発生に注意が必要。



図1 葉表の淡黄色斑点



図2 葉裏の白いカビ

表1 露地ぶどうにおけるべと病の発病葉率(%)

調査地点	6月		7月
	前半	後半	前半
羽曳野市	0.0	0.0	36.0
太子町	0.0	0.0	24.0
<b>令和元年度平均</b>	0.0	0.0	30.0
過去10年間平均	0.0	1.3	16.0

## 2 防除方法

- (1)べと病は、一度発生すると急速に被害拡大することが多いため、ほ場の見回りをこまめに行う。
- (2)発生園地では、使用時期に注意し、薬剤防除を行う(表2)。
- (3)発病した葉、果房などは除去し、園外に持ち出すなどして処分する。
- (4)Qoi剤(FRAC:11)は耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。
- (5)発生園地では、収穫後にも防除を行う(表3)。

表2 収穫前の防除薬剤

薬剤名	系統	FRAC	希釈倍数(倍)	使用時期	本剤の使用回数
エトフィンフロアブル	カルボキシアミド	22	1000	収穫7日前まで	4回
レーバフロアブル※	その他	40	2000~3000	収穫7日前まで	3回

※一般に小豆大以降の散布では花粉溶脱のおそれがあるので注意する。

表3 収穫後の防除薬剤

薬剤名	系統	FRAC	希釈倍数(倍)	使用時期	本剤の使用回数
ICボルドー66D	無機銅	M1	25~100	—	—
ICボルドー48Q	無機銅	M1	25~50	—	—

※デラウエアでは66D、大粒系品種では48Qを使用する。

●Web版大阪府病害虫防除指針 (<http://www.jpnp.ne.jp/osaka/>)

●農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム ([http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm))